ジャンプアップ中里 (第40号)

佐世保市立中里中学校だより　平成 31 年 3 月 13 日

校訓「自主・実践・創造」
学校教育目標『学び合い・磨き合い・鍛え合う生徒の育成』

◎ 3年生「進路学習発表会」を行いました！

公立高校一般入試が終了した次の日(3/8)、3年生による「入試報告会」を行いました。

この会は、まだ「高校入試」を経験していない1・2年生に、入試の情報と雰囲気を伝え、アドバイスを送ることで、進路に対する意識を高めることを目的としました。

発表会では、進学する高校が内定している9名の3年生が、プレゼンを使って発表しました。「**中学校三年間で進路に対する意識がどう変わっていったのか**」「**なぜその高校を受験することにしたのか**」「**受験に向けてどんな準備をしてきたのか**」「**受験に向けてのアドバイス**」等、短い時間でよくまとめて、わかりやすく発表してくれました。1・2年生も初めて知る内容に、真剣な表情で耳を傾け、これからの自分の進路について考える絶好の機会になったことだと思います。発表してくれた9名の皆さんには心から感謝いたします。

［1・2年生へのアドバイス］

進路を決めたり、受験をするにあたって大切なことは
「自分の意思で動くことを身につけること」
・何かを決めるときには、自分を大切に！
・いつ本番がきても大丈夫なくらい努力する
・「絶対に合格できる」とポジティブな気持ちを常に持ち続ける
自分自身の将来のためにも、これからも努力を続け、がんばって下さい。

・まずはどんな学校があるのかを知る
・気になった高校のオープンスクールに参加してみる
・オープンスクールでは、学校の隅々まで目を向ける
今から、少しずつでもいいから進路について考えておいたり、受験前に焦らなくていいように勉強しておくことが大切。素敵な高校生活を送れるよう、がんばって下さい。！

学校で指導する「キャリア教育」とは、次のように定められています。

> 子どもたちが「生きる力」を身につけ、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようにする教育

将来、社会人として自立していくために、自分で選択した高校がどのような意味を持ち、その高校で何を身につけようとしているのか。変化の激しい時代を柔軟かつたくましく生きていくためにも、しっかりと自分に問い続け、学び続けてほしいと思います。

◎「創ろう・育てよう・伝えよう」
～第３８回中里皆瀬地区公民館まつり～

3月10日(日)、中里皆瀬地区公民館周辺で「第38回中里皆瀬地区公民館まつり」が開催されました。昨年はすばらしい春の陽気に恵まれ、大勢の人で賑わいを見せていた祭りも、今年はあいにくの雨。文字通り「祭り気分」に水を差しました。

文化ホールの各団体による出し物では、今年も中里中学校の3年生生徒会役員が司会・進行を務め、スムーズな会の進行を行いました。また、吹奏楽部は「学園天国」の演奏で会場の雰囲気を盛り上げ、公民館の講堂には、習字や絵画等の生徒作品も展示され、多くの町民の方々に中里中の教育活動の一端を見ていただく絶好の機会となりました。

地域の行事は、地域の活性化のための大切な宝です。来年度は、好天の中での盛大な「まつり」になることを期待したいと思います。

◎ 白亜の校舎が完成しました！
～理科室・家庭科室棟～

10月から始まりました校舎の屋上防水・壁改修工事が、卒業式を目前にして終了しました。これまで大変ご迷惑をおかけしました。